

神戸海星女子学院大学
学修成果の評価に関する方針(アセスメント・ポリシー)

本学における学修成果は、3つのポリシー、すなわち、「学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」、「教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)」、及び「入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)」に基づき、学生の学修成果を測定・把握し、教育成果の検証及び各種プログラムの改善に資するため、以下の方針に基づき大学全体レベル、学位プログラムレベル、授業科目レベルの3段階で学修成果の評価を行う。

1. 評価基準

本学における学修成果は、「学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」に示す能力の修得状況を基準として、評価を行う。

2. 評価方法

大学として、大学全体レベル、学位プログラムレベル、授業科目レベルの各段階から、以下に示す評価指標を用いて総合的・多面的に評価する。

[1] 大学全体レベル

卒業生アンケート、キリスト教研修アンケート、教学カルテ(学修ポートフォリオ)による学生の自己評価、マンツーマンカルテによる学生の自己評価、卒業研究の評価、TOEIC のスコア、通算 GPA、資格取得状況、就職状況(就職先、就職率)等から大学における活動全体を通した学修成果の達成状況を評価する。

[2] 学位プログラムレベル

海星教学調査、教学カルテ(学修ポートフォリオ)による学生の自己評価、単位修得状況、GPA 等から学位プログラムとしての学修成果の達成状況を評価する。

[3] 授業科目レベル

教学カルテ(学修ポートフォリオ)による学生の自己評価、シラバスに設定された授業の到達目標に対する成績評価や授業評価アンケート等の結果から、授業科目ごとの学修成果の達成状況を評価する。

	学修成果の把握方法
大学全体レベル	卒業生アンケートの実施 キリスト教研修アンケートの実施 教学カルテ(学修ポートフォリオ)による学生の自己評価 マンツーマンカルテによる学生の自己評価 卒業研究の評価 TOEIC のスコア 通算 GPA 資格取得状況 就職状況(就職先、就職率)
学位プログラムレベル	海星教学調査の実施 教学カルテ(学修ポートフォリオ)による学生の自己評価 単位修得状況 GPA
授業科目レベル	教学カルテ(学修ポートフォリオ)による学生の自己評価 成績評価 ルーブリック評価の実施 事前・事後テストの実施 授業評価アンケートの実施